



日本更生保護女性連盟会長表彰

小林地区更生保護女性会 理事

い で ぐ ち こ  
井手口 イツ子 さん (79)

子どもたちの優しい  
気持ちを育む活動を  
これからも続けていきたい。

更生保護は、罪を償い社  
会の一員として立ち直ろう  
とする人を支える制度。そ  
れの中で更生保護女性会  
は、罪を犯した人が復帰し  
やすい社会づくりや非行を  
生まない地域づくりに取り  
組んでいる。

井手口イツ子さんは、同  
会で副会長や理事を務める  
など活動が認められ、12月、  
日本更生保護女性連盟会長  
表彰を受けた。

「思いもよらない名誉を  
いただき、感謝の気持ちで  
いっぱいです。一緒に活動  
してきた会員みんなでいた  
だいた表彰状だと思ってい

ます」。

井手口さんが入会したの  
は、15年前。当時、女性会  
では特に子どもを対象にし  
た活動を始めたころだっ  
た。七夕飾りやメッセー  
ジ入りのしおりを手作りし、  
学校などに寄贈していた。

「最初のころは本当にな  
だ渡すだけだった」。

優しい気持ちを持った子  
どもに育って欲しいという  
願いから、井手口さんはそ  
の中心となり活動に取り組  
んだ。市内全小学校に配る  
ため、紙飾りなど作る数は  
数千におよぶことも。時に  
は、自宅でも作業をした。

同会の伊藤美智子会長  
は、「行動力と責任感があ  
り、みんなの信頼も厚い」  
とその人柄を話す。

その努力が周りをも動か  
し、今では、学校から「子  
どもたちと一緒に七夕づく  
りをして欲しい」と依頼が  
来るほどの内外からの信頼  
を得ている。

「こういった活動を通し  
て、子どもたちの優しい気  
持ちを育んでいければうれ  
しい」と笑顔を見せる井手  
口さん。

犯罪のない明るい社会の  
実現に向けて、その活動の  
輪を広げていく。



①・②各小中学校の新入生  
に贈るしおりを作る会員ら。  
メッセージの書かれた紙に押し  
花を入れラミネートする作  
業を、約1800枚手作りで行  
う。③会員らは月に1度は  
集まり、どうすれば犯罪のな  
い明るい社会になるかを考  
えている。

小林  
小 人  
こばやしびと  
Vol.73